

チェック項目		はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	6		国の定めた基準以上の広さを確保し、スペースは児童の特性に応じて適切に配置・利用しております。	
	2	6		国の定める配置基準は、事業所に児童発達管理責任者・管理者を1名以上配置、児童10名までに職員2名を配置、それ以上の児童が利用する際には児童5名につき職員を1名ずつ増員するというものになっており、その基準を厳守しております。	
	3	5	1	児童がご家族と離れても、安心して過ごせる環境づくりを心がけております。玄関付近はバリアフリーではありませんので、ケガのないように注意しております。室内はフラットになっております。	今後も安心して過ごせる環境づくりを心がけ、一部バリアフリーではない部分については、その都度児童の特性に応じた配慮に努めながら、安全への配慮を継続してまいります。
	4	5	1	衛生管理に配慮し、常に空気清浄機の使用と換気、また机・椅子・玩具などは使用後の除菌や清掃をおこなっております。	衛生管理に配慮し、常に空気清浄機の使用と換気、また机・椅子・玩具などは除菌や清掃を行い、清潔な空間になるように努めてまいります。
業務改善	5	6		定期的に職員間で改善会議を実施し、情報共有や振り返りをおこないつつ、今後の方針を検討しております。	
	6	6		年に一度アンケート調査を実施し、集計内容を職員間で共有しながら今後の支援につなげております。	
	7	6		COMPASS 発達支援センター公式 Web サイトにて公開しております。	今後も公式 Web サイトで公開してまいります。
	8	6		現時点では第三者評価は実施できておりません。	第三者による外部評価については今後の課題として検討してまいります。
適切な支援の提供	9	5	1	定期的な研修を実施し、職員の資質向上の機会を確保しております。	定期的な研修の機会を設け、今後は外部への研修の機会も検討してまいります。
	10	6		アセスメントを適切に行い、児童と保護者様のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しております。	
	11	6		標準化されたアセスメントツールを使用し、状況の把握に努めております。	
	12	6		児童発達支援ガイドラインを踏まえ、具体的な支援内容が設定された支援計画を作成しております。また、関係機関と連携し情報共有に努めております。	
	13	6		支援計画について職員間で共通認識を図り、充実した支援につなげております。	
	14	6		季節にあったものを取り入れるなど職員間で話し合い、全員がチームとなって立案しております。	
	15	6		児童の状況に合わせ、個別療育の他、イベントや製作・集団活動も取り入れ、固定化しないよう工夫しております。	
	16	6		個別療育を基本とし、集団活動も取り入れながら、児童の特性に応じた支援計画を作成しております。	
	17	6		その日の役割分担等については、職員間で必ず確認しております。また、児童の様子についてもその時々で伝え合いながら、共通認識を図っております。	
	18	6		支援終了後の話し合いは送迎などで難しい場合もあり、職員間でミーティングノートを活用し児童についての共通認識を図っております。	
関係機関や保護者様との連携	19	6		支援内容やその日の体調等を記録し、気になったことは職員間で周知したり、ミーティングノートを活用し支援の改善や検証に取り組んでおります。	
	20	6		定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しております。	
	21	6		対象児童について、事前に職員間で話し合い現状を把握したうえで、児童発達支援管理責任者が担当者会議に参画しております。	
	22	6		関係機関との会議にも積極的に参加し、子育て支援等からいただいた情報は支援に活用させていただいております。	
	23	6		現在医療的ケアが必要な児童は在籍していません。	事業所は重症心身障害以外の児童が対象となっていることもあり、今後受け入れ希望があった場合は、慎重に検討し、受け入れ体制・事業所のあり方について模索してまいります。
	24	6		現在医療的ケアが必要な児童は在籍していません。	事業所は重症心身障害以外の児童が対象となっていることもあり、今後受け入れ希望があった場合は、慎重に検討し、受け入れ体制・事業所のあり方について模索してまいります。
	25	6		必要に応じ、保護者様の同意を得て支援の見学や情報共有をおこない、相互理解に努めております。	
	26	5	1	対象となる児童には保護者様の同意を得て支援の見学や情報共有を行いつつ、相互理解に努めております。	今後も、対象となる児童には保護者様の同意を得て支援の見学や情報共有をおこないながら、相互理解に努めてまいります。
	27	5	1	専門機関と連携し、必要時には相談できる体制を整えております。	今後、対象となる児童には保護者様の同意を得て支援の見学や情報共有をおこないながら、相互理解に努めてまいります。
	28	6		感染症もあり、交流機会はありませんでした。	多くの児童は保育所・幼稚園等に違いながら事業所を利用しておりますので、日常的に障がいのない児童との交流はできているのではと考えております。今後は、このようなニーズがあがってきたときに検討してまいります。
	29	6		感染症もあり、参加機会はありませんでした。	今後、機会があれば自立支援協議会の活動にも参加し、地域資源の一つとしての役割を担えるよう、地域活動をおこなってまいります。
	30	6		送迎時や連絡帳のやりとりなどで保護者様とお話しをする機会を作り、児童の発達状況や課題について共通理解を図っております。	
	31	5	1	送迎などの機会に保護者様のお悩みやお困りごとをお聞きし、必要な助言や効果的な支援方法などをその都度をお伝えするように努めております。また療育上必要でご家庭での協力が仰げるものはご提案し、可能な範囲で取り組んでいただいております。	今後も継続して、送迎などの機会に保護者様の思いやお悩みに寄り添った丁寧な支援に努めてまいります。
保護者様への説明責任等	32	6		保護者様に分かりやすいように丁寧な説明を行ってまいります。また契約の際の読み合わせでは質問や不明な点がないかなどを確認しながら進めてまいります。	
	33	6		ガイドラインに基づいて支援計画を作成しております。保護者様へは支援計画の内容を示す中でわかりやすい言葉を使って計画の同意を得ております。	
	34	6		ガイドラインに基づいて支援計画を作成しております。保護者様へは支援計画の内容を示す中でわかりやすい言葉を使って計画の同意を得ております。	
	35	6		感染症もあり、保護者様の機会はありませんでした。	保護者様同士の繋がりを大切に、安心して子育てができるような支援の必要があることから、今後このようなニーズがあがってきたときには、検討してまいります。
	36	6		日頃からすくりに職員間で共有できるように体制を整えておく、ご相談や申し込みに対して迅速に対応できるように心がけております。	
	37	6		季節ごとの COMPASS だよりや、公式 web サイト、ブログ、毎月の連絡帳カレンダーでは前月の活動の様子や今月の予定などを、お写真とともにお伝えしております。	
	38	6		個人情報に関する書類などは鍵付書庫で保管し、取り扱いは十分注意しております。	
	39	6		保護者様の状況、また児童の特性や状況に応じた配慮を心がけ、意思の疎通や情報伝達に努めております。	
	40	6		感染症が流行していたため地域住民をご招待するよう企画はできませんでした。	今後は、地域の方々やボランティア団体との連携、及び協力をおこなうなど交流できる場があれば、検討してまいります。
	非常時等の対応	41	6		各種マニュアルは壁面に掲示したり、手に取ってご覧いただけるようにしておきます。また定期的に児童と共に避難訓練を実施しております。
42		6		避難訓練は、児童も参加して定期的実施しております。訓練の様子は次の月の連絡帳カレンダーを通じてご紹介しております。	
43		6		標準化されたアセスメントツールを使用し、状況の把握に努めております。また連絡帳などを通して状況の変化も確認させていただいております。	
44		6		指示書がある児童については保護者様と情報共有をおこない、各児童のアレルギーに関する一覧表を作成して全職員に周知しております。	
45		6		ヒヤリハット報告を徹底し、紙面に残して閲覧し周知ミーティングをおこないながら再発防止につなげております。	
46		6		事業所に虐待防止責任者を選定し、事業所内研修や外部研修に参加し認識を深めております。	
47		6		利用契約書に原則として身体拘束の禁止を記載しておりますが、やむを得ず必要な場合については、保護者様の承諾を得て支援計画に記載するようにしております。	

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。